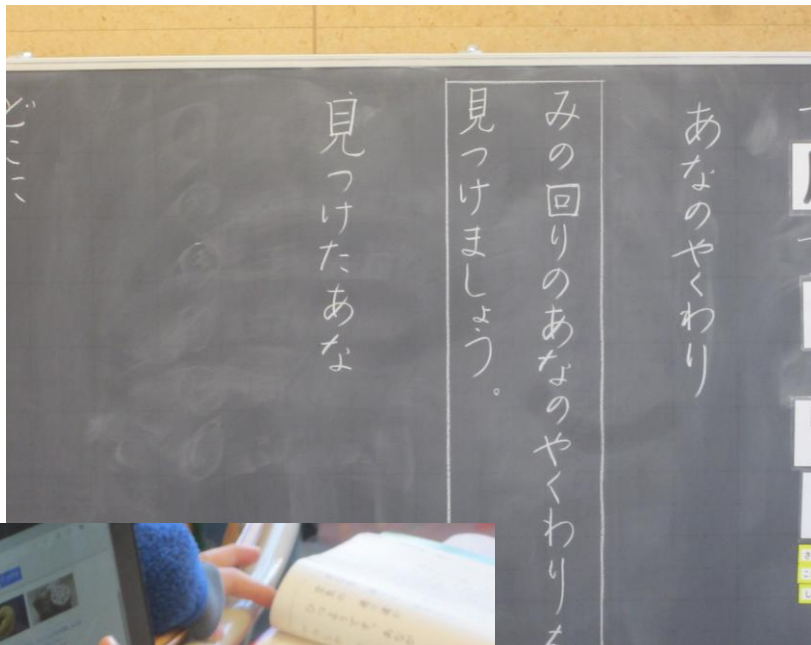


リーディングDXスクール事業【実践事例】

つくば市立研究学園小学校

【取組内容②】 WEBを活用した情報収集と気づきの共有

第2学年 国語「あなのやくわり」の学習における実践



【活用方法】

- ・教科書に掲載されている「あなが開いている4つのもの」を、「名前」「穴が開いている場所」「役割」「理由」の観点で整理する。
- ・身の回りにある「あなが開いているもの」を、子ども向けのWeb検索サイトを使用して上記の4つの観点で調べ、まとめる。
- ・調べた内容をWEB共有アプリでクラス全体に共有し、意見を交換する。

【成果】

- ・児童が身の回りのものを観察し、目的意識をもって調べる力を身につけた。
- ・WEB共有アプリを活用することで、クラス全体で多様な事例を共有し、学びを深めることができた。
- ・友達が見つけた「あなの役割」に触れることで、新たな発見や気づきが生まれた。

【課題】

- ・低学年の児童にとって、インターネット上の情報の信頼性を判断することが難しいため、適切なサポートが必要である。
- ・日常的にICTを活用する機会を増やし、スムーズに記録・発信できる環境をつくる。